

## 3章 望ましい環境像

# 1 将来都市像（総合計画における全体目標）

## (1) 将来都市像

### 将来都市像

### すこやかなまち～人と地域が輝く上越～

総合計画では、市政運営の全体目標として上記の将来都市像を設定しています。

「すこやかなまち」とは、現在、そして将来の市民一人ひとりが「すこやかな暮らし」を送ることができる条件を備えたまちとしています。

### 環境分野のすこやかなまちのイメージ

市民一人ひとりに環境に対する意識が根付き、自ら行動することにより、豊かな自然が大切に守られ、良好な環境の中で心地よく暮らせるまち

## (2) 将来都市像実現のためのテーマ

### 市政運営のテーマ

### 選ばれるまち 住み続けたいまち

総合計画では、将来都市像を実現していくための政策・施策の基調となる考え方として市政運営のテーマを設定します。

現在の市民や未来の市民にとって住み続けたいまちであり、観光・ビジネスなどの目的地となり、上越産品が選ばれるなど、様々な主体から選ばれるまちを目指します。

## (3) 土地利用構想との整合

総合計画における土地利用構想では、土地利用の基本的な考え方を「面・点・線」により明らかにしており、その中で自然環境の保全や環境負荷の低いまちづくりに配慮しています。

## 2 望ましい環境像

本計画は、総合計画で掲げるまちづくりを環境面から実現することを目指すものです。本計画では、総合計画の将来都市像を踏まえ、対象とする4つの環境の分野ごとに「望ましい環境像」を設定します。

### (1) 生活環境分野

#### 快適な生活空間を確保した循環型社会を目指す

廃棄物処理をはじめとする身近な生活環境は、市民の関心が高い分野です。不法投棄や人間活動に由来する汚染が原因として生活環境が悪化し、それが人の健康に影響を及ぼす事もあることから、適切な廃棄物処理やリサイクルを進めるとともに、公害や環境汚染を防止し、景観形成を進めることで、快適な生活空間を確保した循環型社会を目指す。

- 「基本方針」
  - ・ 環境汚染の防止
  - ・ 生活環境の維持・向上

### (2) 自然環境分野

#### 自然と共生した社会を目指す

当市の市域は中山間地域や田園地域、海岸地域まで広域に渡っており、それぞれに豊かな緑や生き物が生息するなど、恵まれた自然環境があります。これらの環境は市民からは高い満足が得られており、今後も環境の維持保全が大切です。

このため、生物多様性を確保し、人と動植物、都市とみどりが互いに豊かに共生する、自然と共生した社会を目指す。

- 「基本方針」
  - ・ 自然環境との共生
  - ・ 自然環境の活用

### (3) 地球環境分野

#### 低炭素社会を目指す

地球環境を保全する中で、地球温暖化対策は重要なテーマです。この地域に住み続けるために、国の取組と共に地域でも温室効果ガスの排出を軽減する取組を進めることが大切です。

このため、温室効果ガスの排出が少ないエネルギーの利用やまちづくり等を進めることで、低炭素社会を目指します。

○「基本方針」

- ・地球温暖化対策の推進

#### (4) 環境学習分野

##### 豊かな環境を継承する社会を目指す

環境保全の取組は一人ひとりの活動が重要です。より多くの市民や事業者が、新たな改善活動に自主的に取り組むことができるように、「生活環境」「自然環境」「地球環境」の様々な情報に触れたり、実践活動ができるような環境学習の推進に努めます。このことにより、豊かな上越の環境の保全につなげ、次世代への継承を目指します。

○「基本方針」

- ・環境啓発の推進

### 3 環境施策の体系

望ましい環境像を実現するため、分野別に基本方針を定め、その方針に基づき次の体系図のような主要施策を展開します。

